

高等教育活性化シリーズ 245 (通算 569 回)

2013 年 12 月 11 日 (水)

4 学期制教学運営の論点整理と合意形成

柔軟なアカデミックカレンダーの構築と進化

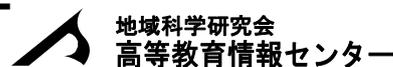
～ 授業・学修時間 / 1 コマ時間・週コマ数 / 時間割編成 / 全体デザイン ～

- ※ [高知工科大] 開学 16 年来のクォータ制の検証 / 8 週 16 コマ集中学修の強み / 学生・教員・職員からの声
- ※ [お茶の水女子大] 全学部・大学院での実施 / 費用対効果 / 多様化する教育様態への対応 / 学修の質と量
- ※ [早稲田大] 4 学期制導入の目的と目標 / セメスター制と 4 学期制の併存 / グローバルな視野を持ち学ぶ仕組み
- ※ [東京大] 学事暦の見直し / 4 ターム制の意義 / 秋季入学・ギャップタームの推進 / 学部教育の総合的改革
- ※ [筑波大] 3 学期制から 6 区分 2 学期制へ / 革新的なモジュール制 / 教育質転換と単位制度再構築 / 教員意識改革
- ※ [パネル討論] 4 学期制の検証と進化～具体的な授業・履修システムの全体デザイン

● 講師陣 ●

坂本 明雄 氏 / (公) 高知工科大学 情報学群教授 前学群長
 半田 智久 氏 / (国) お茶の水女子大学 教育開発センター教授
 田中 愛治 氏 / 早稲田大学 理事 (教務総括) 政治経済学術院教授
 鈴木 敏之 氏 / (国) 東京大学 副理事 経営支援担当部長 教育基本問題検討会議事務局統括
 清水 一彦 氏 / (国) 筑波大学 副学長 理事

2013 年 12 月 11 日 (水) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



日 時 : 2013 年 12 月 11 日 (水) 13 : 00 ~ 16 : 50

会 場 : 日本教育会館 (東京・神保町)
千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス : 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」
A1 出口より徒歩 3 分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>
※受講証及び会場地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費 : A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (消費税込)
B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、消費税込)

- ※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。
- ※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。
- ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたします。
- ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660
口座名 < (株) 地域科学研究会 >
※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申 込 先 : 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ 第 2-106
Tel : 03-3234-1231 Fax : 03-3234-4993 〒102-0082
E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
URL : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

☆ 同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJ の URL にてご覧ください。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 245

柔軟なアカデミックカレンダーの構築と進化

2013 年 月 日

勤務先 _____

所在地 〒 _____

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加
 支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
 必要書類 □請求書 □見積書

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
|-------|---------|---------|
| | | |
| | | |
| | | |

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

| 時間 | 講義項目 |
|------------|---|
| 13:00 } | <p>□ [高知工科大] 開学以来 16 年のクォータ制履修システム ～ 1クォータ=8週16コマ(1コマ90分)の教学運営～</p> <p>(公) 高知工科大学 坂本 明雄</p> |
| 13:30 } | <p>1. 高知工科大学 16 年のあゆみ</p> <p>2. 教育・履修システム (1) システムの特徴 (2) 学年暦 (3) 成績評価/演習の時間</p> <p>3. クォータ制の特徴 (1) 少ない同時進行科目 (2) 柔軟な運用が可能 (3) 週1コマ・16週の科目 (4) クォータ制への声～学生・教員・職員(入試広報/教務)</p> |
| 13:30 } | <p>□ [お茶の水女子大] 2014 年度全学部・大学院 4 学期制実施へのプロセス ～ 4 学期制導入の要諦/多様化する教育様態への対応と確実な学修に向けて～</p> <p>(国) お茶の水女子大学 半田 智久</p> |
| 14:00 | <p>1. 4 学期制導入の要諦 (1) 一工夫で学事暦の可塑性を大幅に高める (2) GPA に並ぶ費用対効果の高い時宜的教育改革</p> <p>2. 多様化する教育様態への対応に著効 (1) グローバル人材育成～国際学事チューニング (2) アクティブ・ラーニング～PBTS/フリップフロップ・クラス (3) コンピテンシー開発～アクティブ・アウトソーシング</p> <p>3. 確かで充実した学び修めの保証 (1) 学修の質と量を同時に充実させる (2) 確実な学修を支援する仕組みの整備と教育の質保証</p> |
| 14:10 } | <p>□ [早稲田大] 2013 年度 4 学期制導入の狙いと今後の展望 ～ Waseda Vision 150 が掲げる 20 年後の早稲田大学の形～</p> <p>早稲田大学 田中 愛治</p> |
| 14:40 | <p>1. 4 学期制導入の目的と目標 (1) 在学生のサマー・スクールへの短期留学 (2) 海外の学生の早稲田のサマー・スクールへの参加 (3) 海外の教員が早稲田のサマー・スクールで教える (4) 早稲田から留学した学生の復帰をスムーズにする</p> <p>2. セメスター制と 4 学期制の併存は可能か (1) セメスター科目を維持する必要性 (2) 学生はどのように履修すれば良いのか (3) 教員・職員の負担は増えないのか (4) 今後の展望(ボランティア活動、インターンシップ等)</p> <p>3. Waseda Vision 150 が目ざす改革 (1) Global Education Center の設置 (2) コース・ナンバーリングとコード・シェア (3) グローバル・スタンダード(GPA、授業評価)の導入 (4) 学生がグローバルな視野を持って学べる仕組み</p> |
| 14:40 } | <p>□ [東京大] 学部教育の総合的改革 ～ 秋季入学構想、4ターム制の現状と展望～</p> <p>(国) 東京大学 鈴木 敏之</p> |
| 15:10 | <p>1. 改革の沿革 (1) 東京大学の教育をめぐる課題 (2) 秋季入学構想の提起 (3) 逐次実行の方針へ (4) 検討会議の答申とその実施</p> <p>2. 「総合的改革」における学事暦の見直し (1) 「アクションリスト」の概要 (2) 4ターム制の意義 (3) 秋季入学・ギャップタームの推進</p> <p>3. 4ターム制をめぐる検討状況と今後</p> |
| 15:20 } | <p>□ [筑波大] 2013 年度 6 区分の 2 学期制への進化と実際 ～ 3 学期制からの大改革/革新的なモジュール制とは/単位制の再構築～</p> <p>(国) 筑波大学 清水 一彦</p> |
| 15:50 | <p>1. 「改革の 40 年サイクル」と教育改革 (1) 新構想大学と 3 学期制の導入 (2) 「未来構想大学」への移行と教育改革 (3) 60%の支持と学期制改革への断行</p> <p>2. 「6 区分の 2 学期制」の柔軟な制度設計 (1) 革新的なモジュール制の考え方 (2) 筑波「DNA」の継承 (3) 教育の実質化に向けた諸方策</p> <p>3. 学期制改革の実施と課題 (1) 最大の利点は教員の意識変革と合意形成 (2) 課題は科目履修の深さと能動的学修の実現 (3) 教育の質的転換と単位制度の再構築</p> |
| 16:00 } | <p>□ [パネル討論] 柔軟なアカデミックカレンダー～4 学期制の検証と進化</p> <p>司会 清水 一彦 氏 パネリスト 坂本 明雄 氏/半田 智久 氏/田中 愛治 氏/鈴木 敏之 氏</p> |